

いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」
に基づく統計量推計結果
(平成28年1月～3月・暫定値)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成29年2月

岩手県 商工労働観光部 観光課

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	2
(5) 集計対象（範囲）	2
(6) 用語の定義	3
(7) その他	4
①延べ人数と実人数について	4
②調査エリアについて	4
2. 調査結果	5
(1) 調査対象地点数	5
(2) パラメータ調査地点及び取得調査票数	5
(3) 観光地点等入込客数（延べ人数）	6
①総数	6
②地域別入込客数	6
③月別入込客数	6
④市町村別・月別入込客数	7
⑤地域別・分類別入込客数	8
(4) 観光入込客数（実人数）	9
(5) 観光消費額	11
①観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）	11
②観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）	13

※ 本資料の数値は暫定値のため、年間の確定値（平成 28 年 1 月から 12 月）資料において、数値が変わる場合があります。

1. 調査概要

(1) 調査対象期間

平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

(2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成 18 年法律第 117 号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成 19 年 6 月 29 日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成 22 年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

(3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

(4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

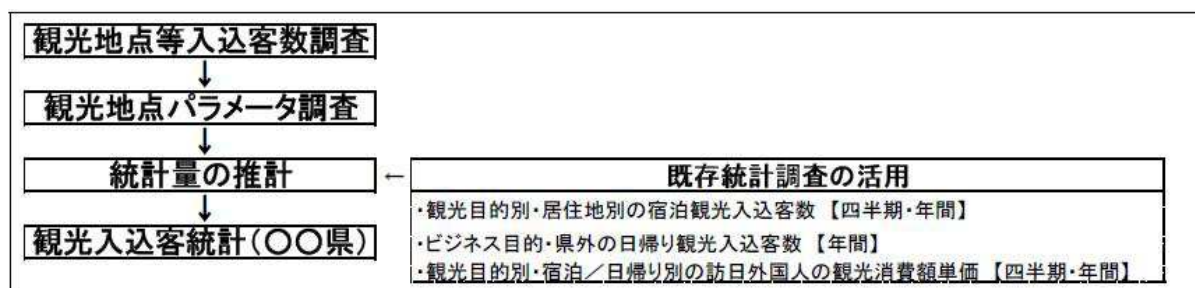


図 1 観光入込客統計の調査体系

(5) 集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

(6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

(7) その他

①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。

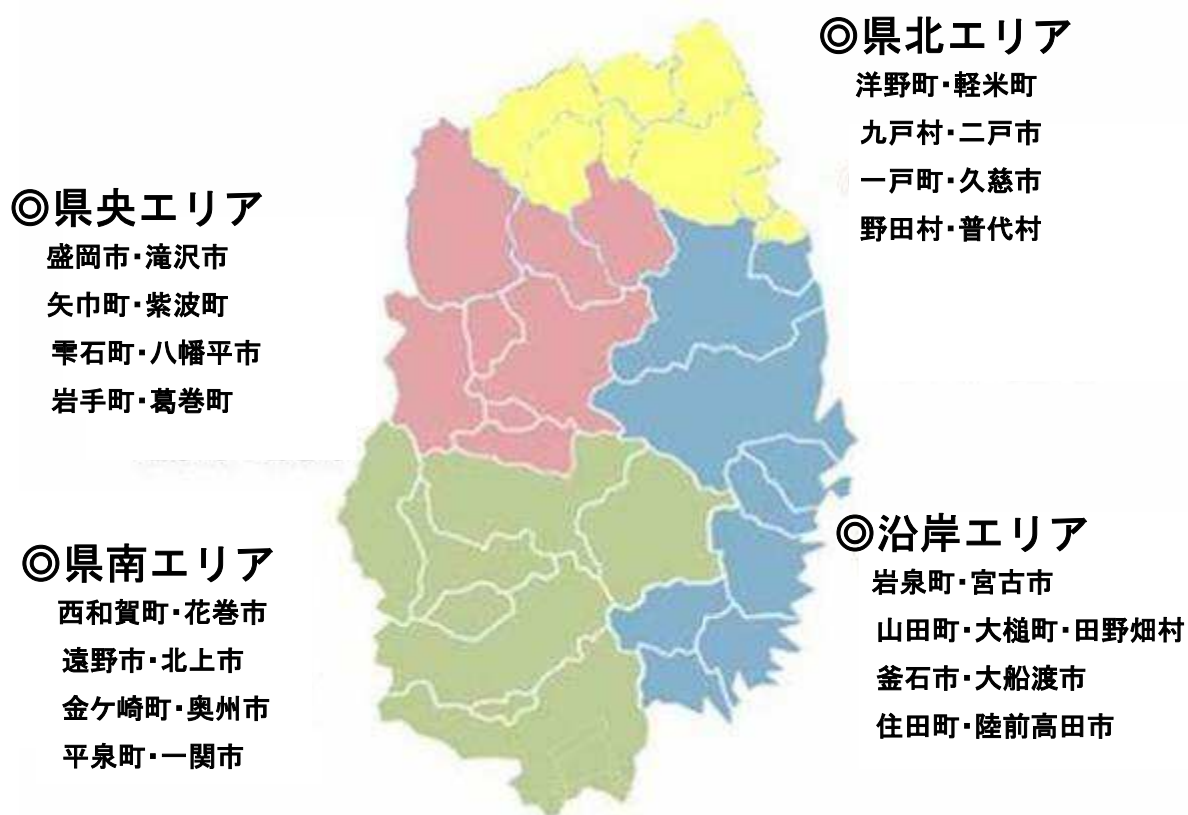


図2 調査エリア

2. 調査結果

(1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 267、行祭事・イベントが 127 である。

表 1 調査対象地点数

総計	観光地点計							行祭事・イベント	内、当該四半期分
		自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他		
394	267	35	60	73	52	25	22	127	11

(2) パラメータ調査地点及び取得調査票数

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成28年2月

[調査地点] 岩手県内の観光地点10ヶ所で実施（表2）

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 942件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 2 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数（本人含む）
小岩井農場	雫石町	県央地域	2/21	81	308
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	2/28	100	431
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	2/27	112	341
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	3/6	113	396
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	3/5	79	280
えさし藤原の郷	奥州市	県南地域	3/5	93	325
道の駅くじ「土風館」	久慈市	県北地域	2/27, 28	92	337
なにゃーと物産センター	二戸市	県北地域	2/21, 22	92	235
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	2/27, 28	100	309
碁石海岸レストハウス	大船渡市	沿岸地域	2/27, 28	80	370
合計				942	3,332

(3) 観光地点等入込客数（延べ人数）

① 総数

平成28年1月～3月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で4,595,751人回となり、前年比では85.5%と減少している。一方、東日本大震災津波発災前の平成23年比では121.3%と増加している。

② 地域別入込客数

岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表3に示すとおりである。

入込客数では県南エリアが1,817,394人回と最も多く、県北エリアが502,034人回と最も少ない。前年比では、県南エリアが105.2%、沿岸エリアが103.6%と増加しているものの、県北エリアは95.9%、県央エリアは67.0%と前年より減少している。

表3 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	1月	2月	3月	平成28年 1-3期合計	平成27 年比	平成27年 1-3期合計	平成23 年比	平成23年 1-3期合計
県央エリア	605,859	686,134	464,062	1,756,055	67.0%	2,621,629	99.7%	1,762,010
県南エリア	846,441	465,035	505,918	1,817,394	105.2%	1,727,486	128.8%	1,410,647
沿岸エリア	165,270	157,717	197,281	520,268	103.6%	502,386	262.0%	198,578
県北エリア	166,213	146,968	188,853	502,034	95.9%	523,550	120.5%	416,788
総計	1,783,783	1,455,854	1,356,114	4,595,751	85.5%	5,375,051	121.3%	3,788,023

※「平成23年比」及び「平成23年1-3期合計」は東日本大震災発災前の平成22年度1-3月期（平成23年1-3月）であるもの。

③ 月別入込客数

岩手県全体での月別入込客数（延べ人数）は表4に示すとおりである。

1月が1,783,783人回と最も多い。平成27年比では、1月が83.9%、2月は83.5%、3月は90.0%となっている。平成23年比では、1月が115.8%、3月が216.7%と震災前を上回っているが、2月は100%を下回っている。

表4 月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

月	平成28年	平成27年比	平成27年	平成23年比	平成23年
1月	1,783,783	83.9%	2,125,168	115.8%	1,540,385
2月	1,455,854	83.5%	1,743,463	89.8%	1,621,832
3月	1,356,114	90.0%	1,506,420	216.7%	625,806

※「平成23年比」及び「平成23年」は東日本大震災発災前の平成22年度1-3月期（平成23年1-3月）であるもの。

④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表5に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは八幡平市の581,027人回で、次いで雫石町の484,394人回、花巻市の360,108人回となった。前年比では、北上市、普代村が140%を超えている。

表5 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域	市町村	1月	2月	3月	1-3期合計	平成27年 年比	平成27年 1-3期合計	平成23年 年比	平成23年 1-3期合計
県央エリア	盛岡市	87,060	162,668	105,082	354,810	61.0%	581,408	140.5%	252,524
	八幡平市	210,150	215,042	155,835	581,027	58.4%	994,367	112.3%	517,435
	滝沢市	9,958	38,209	28,371	76,538	116.3%	65,801	446.0%	17,160
	雫石町	181,293	202,083	101,018	484,394	68.7%	704,616	66.7%	725,976
	葛巻町	13,981	13,670	17,229	44,880	106.5%	42,147	140.4%	31,955
	岩手町	9,621	11,129	12,876	33,626	109.8%	30,614	146.7%	22,922
	紫波町	84,703	34,326	34,374	153,403	105.5%	145,377	116.1%	132,138
	矢巾町	9,093	9,007	9,277	27,377	47.8%	57,299	44.2%	61,900
	小計	605,859	686,134	464,062	1,756,055	67.0%	2,621,629	99.7%	1,762,010
県南エリア	花巻市	118,159	122,073	119,876	360,108	106.1%	339,370	152.5%	236,212
	北上市	58,797	41,714	39,212	139,723	158.9%	87,918	-	0
	遠野市	58,948	68,558	118,226	245,732	92.8%	264,725	93.7%	262,380
	一関市	82,580	110,046	89,995	282,621	101.5%	278,374	116.1%	243,477
	奥州市	260,126	52,598	45,643	358,367	104.6%	342,713	113.9%	314,574
	西和賀町	31,222	31,110	32,448	94,780	105.2%	90,053	118.9%	79,733
	金ヶ崎町	21,788	19,732	22,309	63,829	93.0%	68,658	98.2%	65,002
	平泉町	214,821	19,204	38,209	272,234	106.5%	255,675	130.1%	209,269
	小計	846,441	465,035	505,918	1,817,394	105.2%	1,727,486	128.8%	1,410,647
沿岸エリア	宮古市	36,879	54,247	51,368	142,494	101.8%	139,967	243.6%	58,486
	大船渡市	41,342	45,310	53,027	139,679	103.2%	135,313	842.6%	16,578
	陸前高田市	18,186	17,045	28,306	63,537	91.1%	69,725	-	0
	釜石市	33,851	11,351	17,813	63,015	133.9%	47,076	95.6%	65,939
	住田町	2,491	2,934	4,453	9,878	90.5%	10,915	74.9%	13,186
	大槌町	0	0	0	0	-	0	-	0
	山田町	13,478	12,832	16,445	42,755	100.0%	42,745	1165.6%	3,668
	岩泉町	12,443	11,698	20,769	44,910	104.0%	43,175	161.1%	27,871
	田野畑村	6,600	2,300	5,100	14,000	103.9%	13,470	108.9%	12,850
小計	165,270	157,717	197,281	520,268	103.6%	502,386	262.0%	198,578	
県北エリア	久慈市	26,109	26,637	34,843	87,589	90.7%	96,588	140.3%	62,437
	二戸市	31,814	20,455	23,968	76,237	101.6%	75,034	99.9%	76,317
	普代村	5,032	8,353	6,322	19,707	145.8%	13,521	361.9%	5,446
	軽米町	1,553	1,567	2,921	6,041	98.6%	6,127	129.2%	4,675
	野田村	16,778	14,739	18,006	49,523	108.6%	45,591	114.2%	43,352
	九戸村	4,417	3,762	3,773	11,952	65.1%	18,359	114.5%	10,442
	洋野町	42,445	42,744	54,739	139,928	93.6%	149,418	125.3%	111,649
	一戸町	38,065	28,711	44,281	111,057	93.4%	118,912	108.4%	102,470
小計	166,213	146,968	188,853	502,034	95.9%	523,550	120.5%	416,788	
総計	1,783,783	1,455,854	1,356,114	4,595,751	85.5%	5,375,051	121.3%	3,788,023	

※「平成23年比」及び「平成23年1-3期合計」は東日本大震災発災前の平成22年度1-3月期（平成23年1-3月）であるもの。

⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表 6 及び図 3 に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「温泉・健康」が 1,327,741 人回と最も多く、県南エリア、県北エリアで最も多い入込割合を占めている。また、県央エリアは「スポーツ・レクリエーション」、沿岸エリアは「その他」が最も多い入込割合を占めている。

表 6 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食）	その他	行祭事・イベント
県央エリア	158,641	191,837	529,998	550,221	31,057	150,301	144,000
県南エリア	171,259	404,189	552,758	147,535	270,983	16,608	254,062
沿岸エリア	49,482	42,920	88,139	9,721	92,085	213,421	24,500
県北エリア	70,600	21,828	156,846	42,759	128,395	76,482	5,124
総計	449,982	660,774	1,327,741	750,236	522,520	456,812	427,686

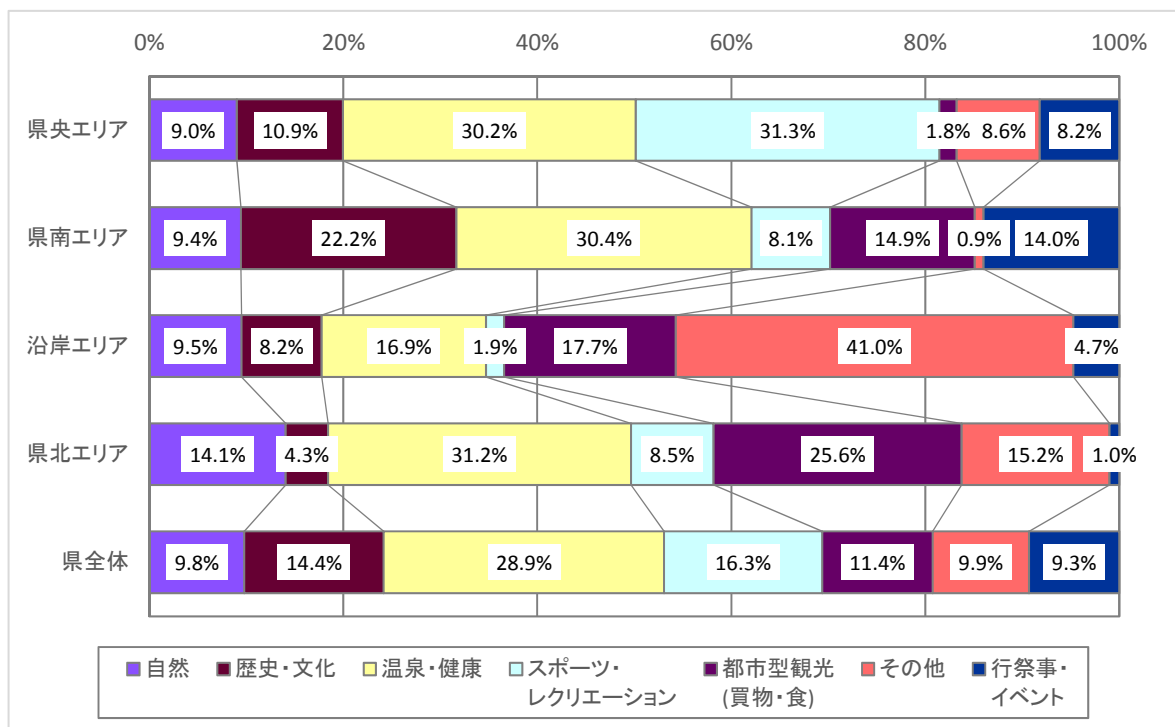


図 3 地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

(4) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 7、8 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

総数は 2,695 千人・回で対前年比 104.6%となっている。

目的別では、観光目的は対前年比 114.9%と増加しているが、ビジネス目的は 77.5%と減少している。

一方、宿泊・日帰り別では、宿泊は対前年比 74.4%と減少しているが、日帰りは 136.0%と増加している。

また、これを県外・県内別でみると、県外が対前年比 99.0%、県内が 108.7%となっている。

表 7 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目		宿泊			日帰り			1-3 期 合計
		宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的 の入込客数	平成 28 年 1-3 期合計	580	307	273	1,567	413	1,154	2,147
	平成 27 年比	82.0%	100.3%	68.1%	134.9%	125.9%	138.4%	114.9%
	平成 27 年 1-3 期合計	707	306	401	1,162	328	834	1,869
	平成 23 年比	78.3%	95.6%	65.0%	78.2%	97.2%	73.0%	78.2%
	平成 23 年 1-3 期合計	741	321	420	2,005	425	1,580	2,746
ビジネス目的 の入込客数	平成 28 年 1-3 期合計	397	221	176	151	138	13	548
	平成 27 年比	65.5%	58.6%	76.9%	149.5%	174.7%	59.1%	77.5%
	平成 27 年 1-3 期合計	606	377	229	101	79	22	707
	平成 23 年比	149.8%	144.4%	157.1%	471.9%	-	40.6%	184.5%
	平成 23 年 1-3 期合計	265	153	112	32	-	32	297
合計	平成 28 年 1-3 期合計	977	528	449	1,718	551	1,167	2,695
	平成 27 年比	74.4%	77.3%	71.3%	136.0%	135.4%	136.3%	104.6%
	平成 27 年 1-3 期合計	1,313	683	630	1,263	407	856	2,576
	平成 23 年比	97.1%	111.4%	84.4%	84.3%	129.6%	72.4%	88.6%
	平成 23 年 1-3 期合計	1,006	474	532	2,037	425	1,612	3,043

※「平成 23 年比」及び「平成 23 年 1-3 期合計」は東日本大震災発災前の平成 22 年度 1-3 月期（平成 23 年 1-3 月）であるもの。

（注）入込客数には訪日外国人を含まない。

表8 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目		県外			県内			1-3期合計
		県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	
観光目的の入込客数	平成28年1-3期合計	720	307	413	1,427	273	1,154	2,147
	平成27年比	113.6%	100.3%	125.9%	115.5%	68.1%	138.4%	114.9%
	平成27年1-3期合計	634	306	328	1,235	401	834	1,869
	平成23年比	96.5%	95.6%	97.2%	71.4%	65.0%	73.0%	78.2%
	平成23年1-3期合計	746	321	425	2,000	420	1,580	2,746
ビジネス目的の入込客数	平成28年1-3期合計	359	221	138	189	176	13	548
	平成27年比	78.7%	58.6%	174.7%	75.3%	76.9%	59.1%	77.5%
	平成27年1-3期合計	456	377	79	251	229	22	707
	平成23年比	234.6%	144.4%	-	131.3%	157.1%	40.6%	184.5%
	平成23年1-3期合計	153	153	-	144	112	32	297
合計	平成28年1-3期合計	1,079	528	551	1,616	449	1,167	2,695
	平成27年比	99.0%	77.3%	135.4%	108.7%	71.3%	136.3%	104.6%
	平成27年1-3期合計	1,090	683	407	1,486	630	856	2,576
	平成23年比	120.0%	111.4%	129.6%	75.4%	84.4%	72.4%	88.6%
	平成23年1-3期合計	899	474	425	2,144	532	1,612	3,043

※「平成23年比」及び「平成23年1-3期合計」は東日本大震災発災前の平成22年度1-3月期（平成23年1-3月）であるもの。

（注）入込客数には訪日外国人を含まない。

また、本県を訪れる訪日外国人入込客は表9に示すとおりである。合計は前年比92.9%と減少している。

表9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			1-3期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
平成28年1-3期合計	13	9	4	-	0	-	13
平成27年比	108.3%	100.0%	133.3%	-	-	-	92.9%
平成27年1-3期合計	12	9	3	2	2	-	14
平成23年比	108.3%	90.0%	200.0%	-	-	-	108.3%
平成23年1-3期合計	12	10	2	-	-	-	12

※「平成23年比」及び「平成23年1-3期合計」は東日本大震災発災前の平成22年度1-3月期（平成23年1-3月）であるもの。

(5) 観光消費額

① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 10 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的及びビジネス目的の観光消費額単価は表 10 に示すとおりである。観光目的の県内の宿泊単価は対前年比 99.5%、日帰り単価は 76.9%と減少している。一方、県外の宿泊単価は対前年比 133.3%、日帰り単価は 108.3%と前年を上回っている。

また、平成 23 年と比較すると、観光目的の宿泊単価では、震災前の観光消費額単価を上回っている。

なお、観光消費額単価は、パラメータ調査（サンプル調査）での値であり、ビジネス目的観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目		宿泊		日帰り	
		県外	県内	県外	県内
観光目的	平成 28 年 1-3 期 観光消費額単価	28,570	17,423	6,147	3,115
	平成 27 年比	133.3%	99.5%	108.3%	76.9%
	平成 27 年 1-3 期 観光消費額単価	21,426	17,506	5,677	4,053
	平成 23 年比	120.6%	130.7%	97.5%	81.1%
	平成 23 年 1-3 期 観光消費額単価	23,697	13,331	6,302	3,839
ビジネス目的	平成 28 年 1-3 期 観光消費額単価	28,119	14,796	5,510	2,211
	平成 27 年比	136.8%	100.4%	103.2%	87.8%
	平成 27 年 1-3 期 観光消費額単価	20,555	14,738	5,339	2,517
	平成 23 年比	113.6%	-	-	74.3%
	平成 23 年 1-3 期 観光消費額単価	24,762	-	-	2,977

※「平成 23 年比」及び「平成 23 年 1-3 期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度 1-3 月期（平成 23 年 1-3 月）であるもの。

(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表 11 に示すとおりである。
 観光消費額単価は、パラメータ調査からの推計値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
平成 28 年 1-3 期 観光消費額単価	35,857	54,846	8,921	10,102
平成 27 年比	53.1%	59.7%	75.0%	62.7%
平成 27 年 1-3 期 観光費額単価	67,506	91,825	11,894	16,117
平成 23 年比	81.4%	44.6%	110.0%	124.6%
平成 23 年 1-3 期 観光消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

※「平成 23 年比」及び「平成 23 年 1-3 期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度 1-3 月期（平成 23 年 1-3 月）であるもの。

（注）パラメータ調査でデータを得られない場合は、国から提供されたデータを掲載しているもの。

② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 12 に示すとおりである。

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額の総額は対前年比 96.3%であった。目的別では、観光目的は対前年比 104.5%と前年を上回っているが、ビジネス目的では対前年比 82.9%と下回る結果となった。

一方、ビジネス目的観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、表 7 に示した入込観光客を掛け合わせた金額であることから、ビジネス目的の入込客のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きく、割合の増減も大きくなると考えられる。

表 12 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額	
	宿泊 総額	県外	県内	日帰り 総額	県外	県内		
観光目的	平成 28 年 1-3 期 観光消費額	13,517	8,760	4,757	6,136	2,540	3,596	19,653
	平成 27 年比	99.6%	133.6%	67.8%	117.0%	136.4%	106.4%	104.5%
	平成 27 年 1-3 期 観光消費額	13,568	6,555	7,013	5,243	1,862	3,381	18,811
	平成 23 年比	102.3%	115.1%	84.9%	70.2%	94.7%	59.3%	89.5%
	平成 23 年 1-3 期 観光消費額	13,215	7,612	5,603	8,746	2,681	6,065	21,961
ビジネス目的	平成 28 年 1-3 期 観光消費額	8,828	6,219	2,609	789	761	28	9,617
	平成 27 年比	79.4%	80.2%	77.4%	165.4%	180.8%	50.0%	82.9%
	平成 27 年 1-3 期 観光消費額	11,122	7,752	3,370	477	421	56	11,599
	平成 23 年比	232.3%	163.7%	-	830.5%	-	29.5%	246.9%
	平成 23 年 1-3 期 観光消費額	3,800	3,800	-	95	-	95	3,895
合計	平成 28 年 1-3 期 観光消費額	22,345	14,979	7,366	6,925	3,301	3,624	29,270
	平成 27 年比	90.5%	104.7%	70.9%	121.1%	144.6%	105.4%	96.3%
	平成 27 年 1-3 期 観光消費額	24,690	14,307	10,383	5,720	2,283	3,437	30,410
	平成 23 年比	131.3%	131.3%	131.5%	78.3%	123.1%	58.8%	113.2%
	平成 23 年 1-3 期 観光消費額	17,015	11,412	5,603	8,841	2,681	6,160	25,856

※「平成 23 年比」及び「平成 23 年 1-3 期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度 1-3 月期（平成 23 年 1-3 月）であるもの。

（注）観光消費額には訪日外国人を含まない。

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 13 に示すとおりである。
訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 27 年比 65.6%、平成 23 年比 83.3%と下回る結果となった。

一方、観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、表 9 に示した入込観光客を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいと考えられる。

表 13 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊 総額	観光	ビジネス	日帰り 総額	観光	ビジネス	
平成 28 年 1-3 期 観光消費額	547	328	219	3	3	-	550
平成 27 年比	67.1%	56.3%	94.4%	13.0%	13.0%	-	65.6%
平成 27 年 1-3 期 観光消費額	815	583	232	23	23	-	838
平成 23 年比	83.3%	71.6%	110.1%	100.0%	100.0%	-	83.3%
平成 23 年 1-3 期 観光消費額	657	458	199	3	3	-	660

※「平成 23 年比」及び「平成 23 年 1-3 期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度 1-3 月期（平成 23 年 1-3 月）であるもの。